

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【公開番号】特開2019-42353(P2019-42353A)

【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-011

【出願番号】特願2017-170918(P2017-170918)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月26日(2020.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示に対応する特定表示を表示可能な遊技機であって、  
特定表示の表示態様として、複数の表示態様が存在し、  
演出態様が異なる複数の演出モードに制御可能な演出制御手段と、  
特定表示に対応した付加表示を表示可能な付加表示手段と、を備え、  
特定表示の形状と付加表示の形状とが異なるとともに特定表示の表示領域と付加表示の  
表示領域とが異なり、

特定表示の表示態様として、通常態様と、該通常態様よりも遊技者にとって有利な有利  
状態に制御される割合が高い特別態様とがあり、

演出モードとして、第1演出モードと、該第1演出モードと通常態様の特定表示の表示  
態様が異なる第2演出モードとがあり、

第1演出モードに制御されているときの通常態様の特定表示と、該通常態様の特定表示  
に対応した付加表示とは、第1表示色であり、

第2演出モードに制御されているときの通常態様の特定表示と、該通常態様の特定表示  
に対応した付加表示とは、前記第1表示色と異なる第2表示色であり、

第1演出モードに制御されているときの特別態様の特定表示に対応した付加表示の色と、  
第2演出モードに制御されているときの特別態様の特定表示に対応した付加表示の色とは、  
前記第1表示色及び前記第2表示色の何れとも異なる特別表示色であり、

前記特別表示色として、第1特別表示色と、該第1特別表示色よりも前記有利状態に制  
御される割合が高い第2特別表示色とがあり、

第1演出モードに制御されているときに、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第1特  
別表示色とすることが可能であり、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第2特  
別表示色とすることが可能であり、

第2演出モードに制御されているときに、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第1特  
別表示色とすることが可能であり、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第2特

別表示色とすることが可能であり、

前記付加表示手段は、開始条件が成立した可変表示に対応する特定表示が非表示となることに伴い、当該特定表示に対応した付加表示を非表示とする、

ことを特徴とする遊技機。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0010

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0010】**

手段Aの遊技機は、

可変表示に対応する特定表示を表示可能な遊技機であって、

特定表示の表示態様として、複数の表示態様が存在し、

演出態様が異なる複数の演出モードに制御可能な演出制御手段と、

特定表示に対応した付加表示を表示可能な付加表示手段と、を備え、

特定表示の形状と付加表示の形状とが異なるとともに特定表示の表示領域と付加表示の表示領域とが異なり、

特定表示の表示態様として、通常態様と、該通常態様よりも遊技者にとって有利な有利状態に制御される割合が高い特別態様とがあり、

演出モードとして、第1演出モードと、該第1演出モードと通常態様の特定表示の表示態様が異なる第2演出モードとがあり、

第1演出モードに制御されているときの通常態様の特定表示と、該通常態様の特定表示に対応した付加表示とは、第1表示色であり、

第2演出モードに制御されているときの通常態様の特定表示と、該通常態様の特定表示に対応した付加表示とは、前記第1表示色と異なる第2表示色であり、

第1演出モードに制御されているときの特別態様の特定表示に対応した付加表示の色と、第2演出モードに制御されているときの特別態様の特定表示に対応した付加表示の色とは、前記第1表示色及び前記第2表示色の何れとも異なる特別表示色であり、

前記特別表示色として、第1特別表示色と、該第1特別表示色よりも前記有利状態に制御される割合が高い第2特別表示色とがあり、

第1演出モードに制御されているときに、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第1特別表示色とすることが可能であり、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第2特別表示色とすることが可能であり、

第2演出モードに制御されているときに、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第1特別表示色とすることが可能であり、

特別態様の特定表示と、該特別態様の特定表示に対応した付加表示とを、前記第2特別表示色とすることが可能であり、

前記付加表示手段は、開始条件が成立した可変表示に対応する特定表示が非表示となることに伴い、当該特定表示に対応した付加表示を非表示とする、

ことを特徴とする遊技機である。

手段1の遊技機は、

可変表示（パチンコ遊技機1の場合は、特別図柄の変動表示、演出図柄の変動表示、スロットマシンの場合は、識別可能な複数種類の図柄が所定の順序で外周に配列された左リール、中リール、及び右リールの回転）に対応する特定表示（アクティブ表示、保留表示）を表示可能な遊技機であって、

前記特定表示の表示態様として、複数の表示態様（通常態様「モード対応色」、特殊態様「モード対応色点滅」、第1特別態様「青色」、第2特別態様「赤色」）が存在し、

演出態様（背景画像等）が異なる複数の演出モード（雨モード、雪モード、台風モード）に制御可能な演出制御手段（演出制御マイクロコンピュータ100）と、

前記特定表示に対応した付加表示（例えば、図84、図85、及び図86に示す、アクティブ表示15TM102の近傍に表示されている付加表示15TM103、アクティブ表示15TM112の近傍に表示されている付加表示15TM113、及び、アクティブ表示15TM122の近傍に表示されている付加表示15TM123）を表示可能な付加表示手段（演出制御用マイクロコンピュータ100）と、を備え、

前記演出制御手段により制御される演出モード（雨モード、雪モード、台風モード）と、前記特定表示の表示態様とに応じて、前記付加表示の表示態様を異ならせることが可能である（例えば、雨モードの場合はアクティブ表示15TM102と同じく付加表示15TM103を水色で表示し、雪モードの場合はアクティブ表示15TM112と同じく付加表示15TM113を銀色で表示し、台風モードの場合はアクティブ表示15TM122と同じく付加表示15TM123を灰色で表示することが可能である）、

ことを特徴とする遊技機である。

このような構成によれば、演出モードと特定表示の表示態様とに応じて、付加表示の表示態様を異ならせることが可能であるため、複数の演出モードが存在することによる興奮を向上させることができる。